

今週の欧米株式市場の急落について

ポイント① 欧米株式市場が急落

今週に入って（10月26日～28日）、欧米株式市場が急落しています。前週末比で見た欧米株式市場の値動きは、米国▲6.4%、欧州▲5.6%と、いずれも▲5%を超える大幅安となっています。アジア市場が比較的堅調に推移しているのとは対照的です。年初来パフォーマンスで見ても、中国株がプラス圏で推移しているのに対して、欧州株は▲20%近く下落しています（図1参照）。

ポイント② 欧米での新型コロナ感染再拡大

きっかけは欧米で新型コロナウイルスの感染再拡大が止まらず、一部の国・地域で経済活動制限が再発動され始めたことです。先週後半にチェコやアイルランドでは2度目のロックダウン（都市封鎖）が発動され、昨日28日にはフランスでも30日から約1か月にわたるロックダウンが発動されました。学校は閉鎖されないなど、今春に比べればマイルドな内容になっていますが、経済活動が大幅に制限されることに違いはなく、景気回復に水を差すとの警戒が広がりました。

ポイント③ 今春の感染状況との相違点

一方、感染状況は今春とは大きく異なっています。今春は新規感染者が増えるペースに合わせて死者数も急増していましたが、足元では感染者は急増していますが死者数はそれほど増加していません（図2参照）。医療体制が新型コロナウイルスに対応できるようになった証と思われる、今春のような大混乱が長引くリスクは大きくないと考えられます。株式市場は短期的にパニック売りに見舞われましたが、こうした状況を冷静に理解できるようになれば、落ち着きを取り戻していくものと思われます。

図1：主要国株式市場の年初来パフォーマンス

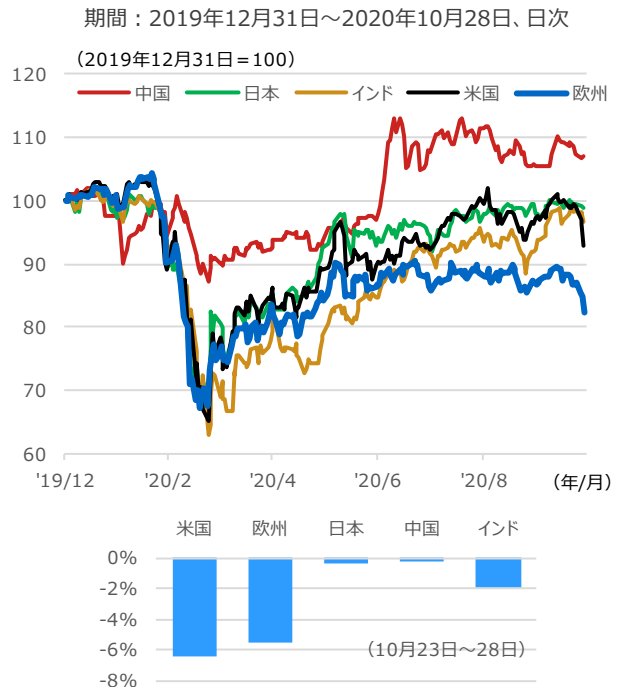
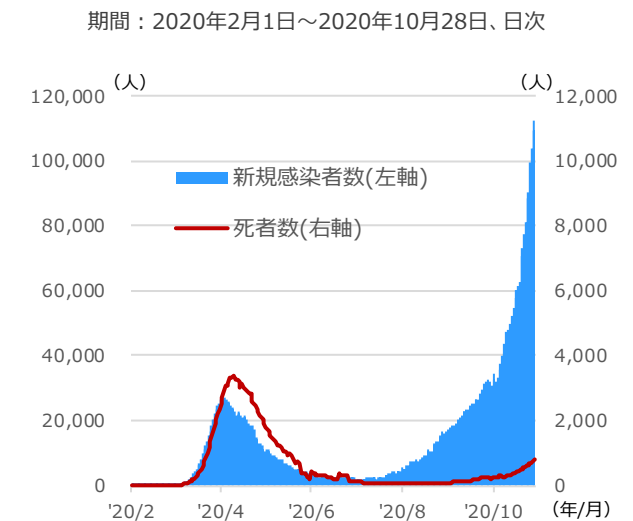


図2：欧州主要5カ国の新型コロナウイルス感染状況



当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。